

## 【国際公開シンポジウム】

# 学校改革はなぜつねに失敗するのか？ Why do School Reforms Always Fail?

—「教育依存社会」をめぐる日米対話—

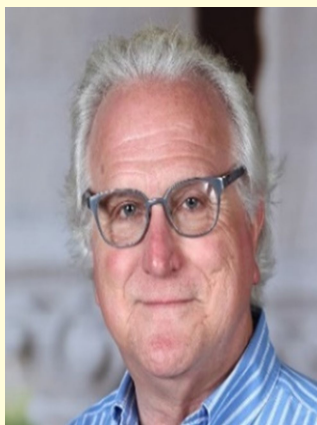
2019年**11月27日** (水) 13:00～17:15

【入場無料/使用言語:英語・日本語】

### 【会場】

京都大学人間・環境学研究科棟  
地下大講義室

【アクセス】京都大学吉田南キャンパスバス停「京大正門前」すぐ



第1部 13:00～14:30

### デイヴィッド・ラバリー先生講演

“From Citizens to Consumers: Evolution of Reform Rhetoric and Consumer Practice in the U.S.”

(市民から消費者へ:アメリカ合衆国における学校改革レトリックと消費者活動の進展)”

デイヴィッド・ラバリー(David F. Labaree)/スタンフォード大学名誉教授 教育社会学、教育史。アメリカ教育史学会元会長。著書にSOMEONE HAS TO FAIL(『教育依存社会アメリカ』岩波書店)など



第2部 14:45～17:15

シンポジウム

### 『教育依存社会アメリカ』をどう読むか

【パネリスト】

デイヴィッド・ラバリー(スタンフォード大学名誉教授/教育社会学)

那須耕介(京都大学大学院人間・環境学研究科教員/法哲学)

石岡学(京都大学大学院人間・環境学研究科教員/教育史)

高山敬太(京都大学大学院教育学研究科教員/比較教育学)

コーディネータ: 倉石一郎(京都大学大学院人間・環境学研究科教員/教育学)

通訳: 小林美文(成蹊大学他兼任講師、『教育依存社会アメリカ』訳者)

【主催】2019年度京都大学『人文・社会科学の未来形発信』事業「人文学研究活動推進経費」(人環企画分、題目:教育における credentialism(学歴主義)現象に関する国際比較:デイヴィッド・ラバリー教授(スタンフォード大学名誉教授)との対話)  
事業責任者: 人間・環境学研究科教授 倉石一郎

【共催】慶應義塾大学慶應義塾大学学事振興基金 佐久間亜紀・藤本和久共同研究プロジェクト

【共催】日本教育学会近畿地区理事会(本企画は、日本教育学会第79回大会@神戸大学:2020年8月24日(月)～26日(水)のプレ企画でもあります。)